

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第52週 (12/26-1/1) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数 | | 52週 | 51週 | 50週 | 49週 |
|-----------|--|-----|-----|-----|-----|
| 小児科 | | 16 | 18 | 18 | 18 |
| 眼科 | | 3 | 5 | 5 | 5 |
| インフルエンザ* | | 23 | 28 | 28 | 28 |
| 基幹定点 | | 1 | 1 | 1 | 1 |

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

| 定点 | 感染症名 | 千葉市 | | | | | 千葉県 |
|------|---------------------------|-----|-------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| | | 注意報 | 12/26-1/1 | 12/19-12/25 | 12/12-12/18 | 12/5-12/11 | 12/19-12/25 |
| | | | 52週 | 51週 | 50週 | 49週 | 51週 |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | | 7 0.44 | 4 0.22 | 5 0.28 | 6 0.33 | 27 0.20 |
| | 咽頭結膜熱 | | 2 0.13 | 0 0.00 | 3 0.17 | 3 0.17 | 42 0.31 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | 30 1.88 | 46 2.56 | 42 2.33 | 46 2.56 | 449 3.35 |
| | 感染性胃腸炎 | ↓ | 145 9.06 | 323 17.94 | 430 23.89 | 357 19.83 | 2,599 19.40 |
| | 水痘 | | 5 0.31 | 7 0.39 | 8 0.44 | 8 0.44 | 61 0.46 |
| | 手足口病 | | 2 0.13 | 7 0.39 | 13 0.72 | 17 0.94 | 55 0.41 |
| | 伝染性紅斑 | | 1 0.06 | 1 0.06 | 3 0.17 | 2 0.11 | 15 0.11 |
| | 突発性発しん | | 7 0.44 | 11 0.61 | 9 0.50 | 8 0.44 | 52 0.39 |
| | 百日咳 | | 1 0.06 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 4 0.03 |
| | ヘルパンギーナ | | 0 0.00 | 0 0.00 | 1 0.06 | 0 0.00 | 2 0.01 |
| | 流行性耳下腺炎 | | 3 0.19 | 9 0.50 | 6 0.33 | 3 0.17 | 38 0.28 |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) | ↓ | 102 4.43 | 193 6.89 | 117 4.18 | 108 3.86 | 2,070 9.67 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 流行性角結膜炎 | | 0 0.00 | 4 0.80 | 4 0.80 | 4 0.80 | 17 0.50 |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 無菌性髄膜炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 1 1.00 | 0 0.00 | 1 1.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | クラミジア肺炎 (オウム病を除く) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 1 1.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(7件)

| 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 | 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 |
|----|----|------|-----------|------|----|------|------------|
| 結核 | 男性 | 40歳代 | IGRA検査 | 結核 | 女性 | 80歳代 | IGRA検査等 |
| 結核 | 男性 | 70歳代 | 病原体等の検出 | E型肝炎 | 女性 | 70歳代 | 血清IgA抗体の検出 |
| 結核 | 男性 | 80歳代 | 病原体遺伝子の検出 | 梅毒 | 男性 | 30歳代 | 血清抗体の検出 |
| 結核 | 女性 | 60歳代 | IGRA検査等 | - | - | - | - |

・第52週は、結核5件(238)、E型肝炎1件(7)、梅毒1件(29)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第52週のコメント

<感染性胃腸炎> 前週より減少し9.06となり、流行発生警報終息基準値を下回った。過去10年の同時期と比べると少ない。

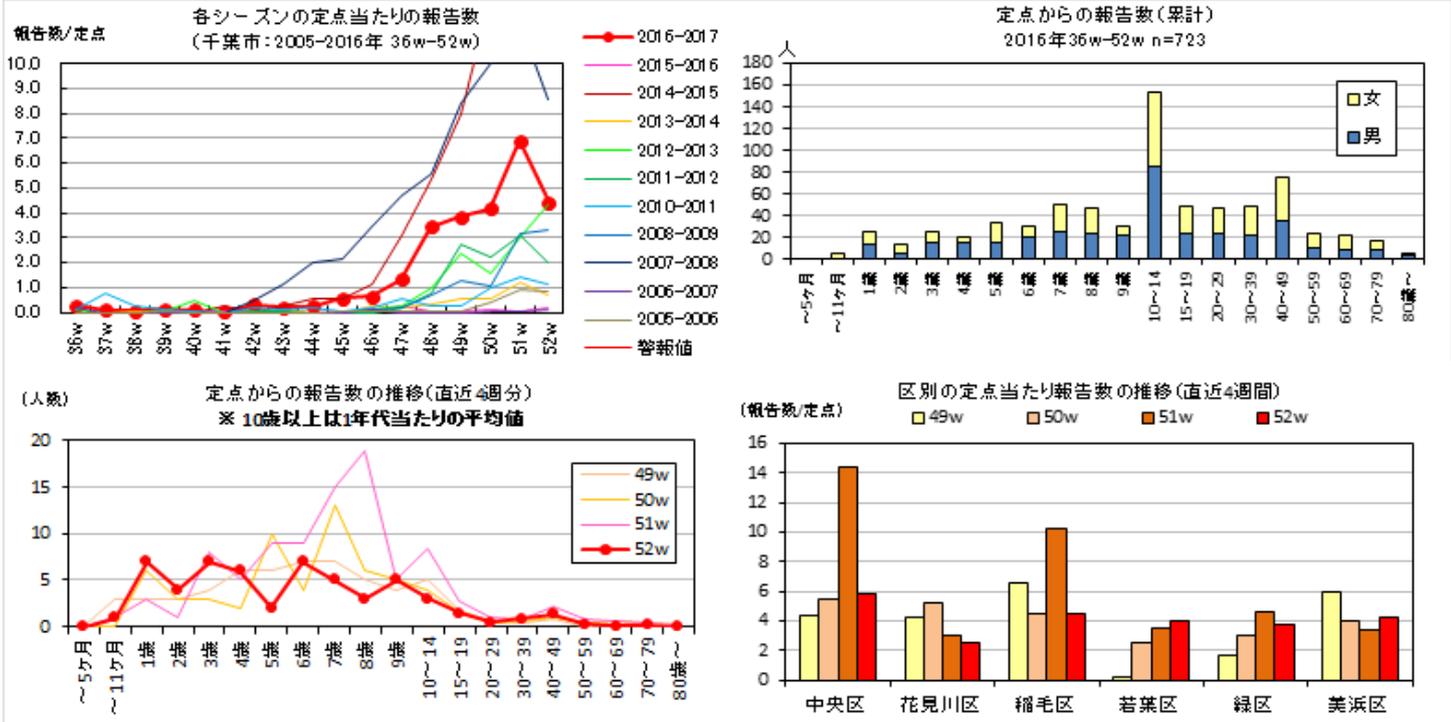
<インフルエンザ> 前週より減少し4.43となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。

■ トピック ■

<インフルエンザ>

全国レベルの第51週は、過去9年の同時期と比べると2009年のパンデミックを除き多くなっています。都道府県別では、富山県、群馬県、秋田県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の第52週は、前週より減少し4.43となりました。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。区別の発生状況は、中央区(5.83/定点)で最多となっており、同区の10歳代前半で最も多く、一年代当たりでは7歳及び8歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2016年第36週から第52週までの累積報告数(n=723)によると、性別では男性が52.8%(382名)、女性が47.2%(341名)で、一年代当たりの年齢階級別では7歳(7.1%:51名)、8歳(6.5%:47名)、5歳(4.7%:34名)の順に多くっており、20歳未満は全体の67.2%、10歳未満は全体の39.3%となっています。

※2009-2010年のパンデミックは割愛しています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第51週は過去9年の同時期と比べると多くなり、流行発生警報開始基準値(20.0/定点)を下回りましたが流行発生警報終息基準値(12.0/定点)は上回っています。都道府県別では、山形県、福井県、宮崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなっています。千葉市の第52週は、前週より更に減少し9.06となり、流行発生警報終息基準値を下回りました。過去10年の同時期と比べると少なくなっています。区別の発生状況は、若葉区(16.5/定点)で流行発生警報終息基準値を上回り最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。その他、稲毛区で流行発生警報終息基準値を上回っています。今シーズンである2016年第36週から第52週までの累積報告数(n=3060)によると、性別では男性が53.8%(1646名)、女性が46.2%(1414名)で、年齢階級別では4歳(13.5%:410名)、1歳(12.5%:384名)、5歳(10.9%:335名)の順に多くなっています。

